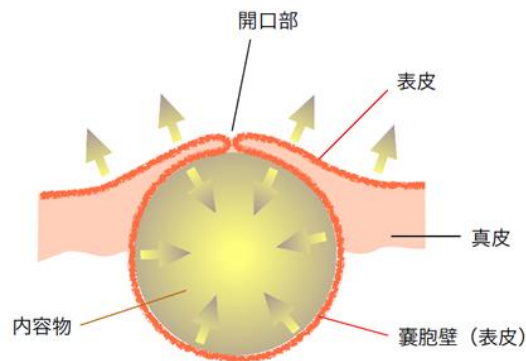


粉瘤（ふんりゅう）について

# 粉瘤（表皮嚢腫；atheroma）

- 粉瘤はニキビやおできのような一過性のできものではありません。放置するとだんだん大きく育ってしまいます。
- 大きく育った粉瘤は、いずれ袋が破けて炎症を生じます。
- 炎症性粉瘤は激しい痛みと、悪臭を生じさせます。
- 粉瘤の治療は、外科的に内部の袋を完全に摘出する必要があります。



# 当院の治療法

- 当院では、摘出後のキズ跡を最小限に治めることと、粉瘤を再発させない事を第一に考え、**縮小紡錘型切除**による低侵襲手術を行っております。



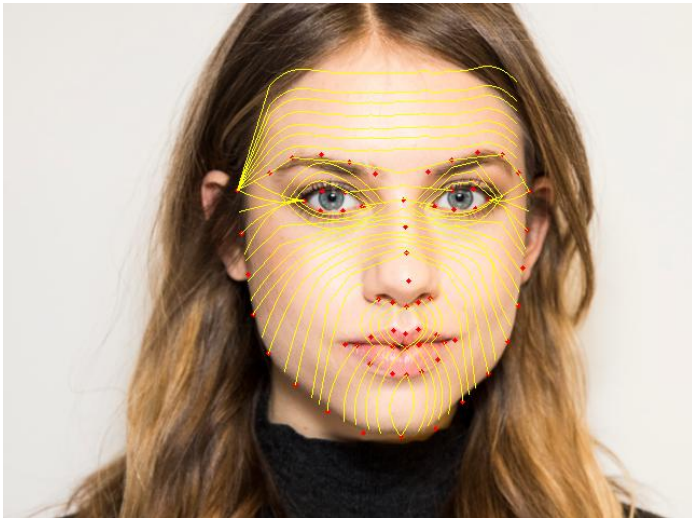
<従来型の切除デザイン>



<縮小紡錘型切除のデザイン>

# 当院の治療法

- 炎症性粉瘤やごく小さな粉瘤に限っては、従来型のくり抜き切開を行っておりますが、顔面などキズ跡が気になる部位では、術後の陥凹瘢痕やdog ear変形を生じてしまうため、キズ跡を皮膚のrelax skin tension lineに一致させるべく縮小紡錘型切除を行っております。



<真皮縫合と表皮縫合による2層縫合>

# 当院の治療法

- 縮小紡錘型切除はくり抜き切除に比べて、手術手技の技量を要するため、形成外科独自の切除方法と云われます。
- 腫瘍を構成する角質のカプセルを完全に摘出するため、再発率が低く、術後のキズ跡においても、くり抜き切除よりも優れた結果が期待できます。
- 手術は日帰り局所麻酔手術で、全例保険適応となります。手術時間は腫瘍の大きさによりますが、約5分から15分程度です。